

令和2年度 あべの翔学高等学校 学校評価

I めざす学校像

- 1 人徳を経とし実務を緯とする
人徳と実務を兼ね備え、将来、社会で貢献できる生徒を育成することを建学の精神とし、「立志、礼節、誠実、勤勉」を校訓とする。
- 2 学力だけでなく「こころ」の面での成長を大切にし、生活指導面での厳しくもきめ細やかな指導をととして社会生活に適切に対応し、活躍できる教育活動を実践する。

II 中期的目標

- 1 安全管理
新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、生徒・教職員の健康を守る。
- 2 進路指導
生徒・保護者の希望、本人の実力を勘案して、適切な進路指導を行う。
- 3 学習指導
十分に基礎学力が備わっているとは言えない生徒が散見される。基礎学力の定着を図る。
- 4 生徒指導
基本的な生活習慣の習得
- 5 生徒会・クラブ活動への積極的参加
生徒会(学校行事)、課外活動を通じ、勉学との両立を図りながら、秩序・リーダーシップ・協調性等のチームワークや人間関係の育成を図る。

III 本年度の取組内容及び自己評価

中期目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 安全管理	(1)新型コロナウイルス感染症対策の徹底	a 教室、クラブ活動等において3密の防止 b マスク、手洗い、換気の徹底	a クラスターを発生させない b 安全に配慮した学校行事の実施	a 生徒、教職員の感染は少なからず発生したが、クラスター発生には至らなかった。 b 1年を通して新型コロナウイルス感染症に対して慎重な対応を行った。 入学式・卒業式：人数を制限し実施 修学旅行：中止 文化行事：人数を制限し実施。
2 進路指導	(1)進路指導対策の早期実施	a 進路希望調査の早期開始、早期対策	a 四年制大学進学率向上	令和2年度(令和3年3月卒業)の進路結果は以下のとおり。 進路先 人数(構成比) [対前年] 大学 104名(36%) [+9%] 短大・専門 128名(44%) [△6%] 就職 29名(10%) [△4%] 未定 30名(10%) [+1%] 合計 291名(100%) 前年に比べ四年制大学進学者が9%増加しており、逆に短大・専門・各種学校進学が2%減少しているが、進学者全体

				としても前年比3%の増加であった。 生徒数増加に反して進学者比率が落ち 込まないよう、生徒一人ひとりの目標 設定を明確にしてゆく。																
3 生徒指導	(1)基本的な生活指 導の習得	a 遅刻指導強化期間の設 定 b 服装、身嗜み指導の徹 底 c 人権教育の徹底	a 遅刻回数の削減に努める b 通学路立ち番指導 100% c 人権教育回数	遅刻回数の学年別推移は以下のとおり である。(回/人・年) []が令和元年度実績 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>1年次</td> <td>2年次</td> <td>3年次</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>10.1</td> <td>19.2</td> <td>18.3</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>12.6</td> <td>24.9</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>8.9</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> 各学年とも前年度に比較して遅刻回数 が増加しており、目標である10回/人 年以下には至っていない。特に2年生 以降において気の緩みが顕著となって きている。 今後は、2年時のモラル向上を図るため 指導を徹底する。 人権教育については目標を達成できて いると思われるが、教員の目が届かな い休憩時間でのいじめ等の防止に努め ることとする。		1年次	2年次	3年次	3年	10.1	19.2	18.3	2年	12.6	24.9	—	1年	8.9	—	—
	1年次	2年次	3年次																	
3年	10.1	19.2	18.3																	
2年	12.6	24.9	—																	
1年	8.9	—	—																	
4 生徒会・クラブ活動	(1)クラブ活動の活 性化	a クラブ参加率の向上 b 市大会、府大会等での 成績向上	a 軟式野球部、軽音楽部、吹 奏楽部の大会成績向上	新型コロナ禍の中で、運動系クラブ、文 科系クラブの主要大会が中止となり、 生徒の練習成果を発揮することが出来 なかった。 このような状況においても、クラブ 活動中の感染防止に気を付けながら、 令和3年度大会に向けて練習を行って います。																

IV 総合評価

評価	自己評価	次年度の改善方針
B	<p>新型コロナ感染症対策を徹底することに集中した1年でしたが、散発的に感染者は発生しましたが、クラスターを発生させることなく学校生活を過ごすことが出来たことは、評価に値すると思います。</p> <p>一方、遅刻回数は依然として低水準であり、且つ、高校生活に慣れた頃に悪化するなど、生徒の生活態度と学ぶ姿勢を改善する必要がある。</p>	<p>早期に新型コロナ感染症が収束し、以前の日常生活が戻ることを切に期待します。</p> <p>学校生活では、遅刻指導、進路指導、テスト返却などあらゆる場面において生徒一人ひとりと面談を行い、生活面・学習面での姿勢を改善して行く。</p>

V 学校関係者評価

今年度の重点目標	学校関係者評価委員会意見	次年度の改善方策
安全管理	新型コロナウイルス感染症予防では、きめ細かな指導、対策を実施して頂いています。	引続き、クラブ活動、昼食中の感染対策を徹底指導するようお願い致します。
進路指導	関西難関私立大学への合格者が出てきたことは大きな成果と思います。 1年生の時から努力は必ず報われることを教えて頂き、苦手教科対策、受験教科対策などを更にお願ひします。	先輩の成功事例を後輩に伝えてゆく等、新たな校風を築いていくようお願い致します。
生徒指導	基本的な生活習慣が出来ていない生徒が多くいます。遅刻する生徒への罰則強化ではなく、高校生として身に付けるべきルールと、そのルールに対する考え方を教えて頂きたいと思ひます。	昨年と同様、一部の生徒に遅刻が偏っている感がある。 罰則の強化だけでは生活習慣の改善には結びつかないと思われる。生徒個別のフォローアップをお願いする。
生徒会・クラブ活動	大きな大会が開催されない中でも、生徒のモチベーションを維持して頂いたことに感謝します。	クラブ活動の成果として大会参加、発表会など目標を持てるよう指導お願いいたします。
総合評価	約1ヶ月強の休校期間があり、生徒の学習機会が無くなってしまいました。今後も同様のリスクが発生した時を想定し、コミュニケーション手段、学習環境の構築を行って頂きたいと思ひます。 また、中長期的な人財確保、育成に基づいた指導体制の確立をお願い致します。	優秀人財の確保と育成を行い強固な指導体制をお願いする。

学校関係者評価委員会構成

- 評価委員長 :あべの翔学高等学校PTA会長
 評価委員 :あべの翔学高等学校呉竹同窓会会長
 評価委員 :奈良佐保短期大学キャリア支援センター長